



①



②



③



④



⑤



⑥

- ①てだこ市民大学フェスティバルの「桑づくし膳」もすごくおいそ〜
- ②浦添市放課後子どもフェスタ舞台発表で上手に三味線や琴、歌を披露する子どもたち
- ③ハーモニーセンターまつりで茶道体験
- ④JICA沖縄と共同でせかいのおはなし会を開催し、多くの子どもたちが参加しました
- ⑤学童保育まつり2015の会場は大いに盛り上がっていました
- ⑥会場では、様々な体験ブースが設けられ、子どもたちは楽しんでる様子でした
- ⑦浦添市立幼稚園こどもフェスティバルでたくましくエイサーを披露する子どもたち



⑦



◀てだこホール（大ホール）前で行われたもちつき体験

多くの子どもたちが重い杵を持ち上げ「よいしょ!よいしょ!」と周りの声に合わせて楽しそうにもちをついていました。山崎湊斗君と夏帆ちゃんの兄弟は「もちつきをやって楽しかった。」「自分でついたもちは柔らかくておいしかった」と笑顔を見せていました。



◀市老連会長からご褒美をもらう仲程ヨシさん(92歳)

「高齢者の生きがいと健康づくり〜第43回作品展示会〜」に出品した仲程さん。仲程さんは物を作るのが大好きで、今回出品したのは手編みの洋服。「物作りは自分の生きがいであり、長寿の秘訣です」と語っていました。



◀てだこ市民大学フェスティバル副実行委員長の古謝源太さん

今年は、浦添市の特産品をPRしていこうと、「桑づくし膳」を150食作り大好評でしたと嬉しそうに話す古謝さん。来年は、さらに新しいものに挑戦していくと意気込んでいました。



◀放課後子どもフェスタで桃太郎役を務めた友利優君

演劇「桃太郎」を全て英語で披露し、無事大盛況に終わってほっとした様子の友利君。英語は不安だったけど、日々の練習でスラスラ言えるようになった。来年は、「浦島太郎」に挑戦したいと楽しそうに話っていました。



◀一緒につくってあそぼう、たのしいよ!を開催したてだこ学園大学院の皆さん

今回初めてまなびフェスタの中でイベントの企画運営を行った。子どもたちと風車や折り紙など一緒になって作ったり遊んだり、みんなが笑顔になれて楽しかった。参加者全員楽しんでやっているので、来年もまたぜひやりたいと楽しそうに話っていました。



◀第41回社会教育学級生大会で司会を務めた本間佳多倫さん

家庭教育学級の中では、学校での教育と併せてどのような家庭教育を行えばいいのかが見えてきます。保護者同士の交流があることで、協力し合いながら子育てに取り組めるようになりました。今後も様々な講座やイベントを企画していきたいです。

インタビューコーナー



まなびフェスタ浦添2015

～わくわくドキドキ 夢と地域をつなぐ 生涯学習～

ついにこの日を迎えた。市内最大規模の生涯学習イベント。

問い合わせ 生涯学習振興課（内線6061）

生涯学習意欲を高める
まなびフェスタは、浦添市教育の日関連事業として毎年2月に開催しています。このイベントは、浦添市と市内の各種団体の共同主催です。生涯学習に関する活動事例や学習情報を提供する。ことにより、市民一人ひとりの生涯学習意欲を高め、学習活動の参加へとつながっています。

期間中は、紙芝居や子どもたちの歌やダンスの舞台発表、市内企業・団体による体験コーナーなど様々なイベントがあり、老若男女問わず楽しんでいます。また今年は、イベントに参加し、ビンゴを完成させると素敵なプレゼントが当たる「スタンプリービンゴ」も行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▲カッコいいダンスを披露するマチナタウン子ども会の皆さん(浦添市子ども会まつり)